

いえしまDays

7月23日(月) ~ 7月26日(木)

IN 兵庫県立いえしま自然体験センター

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	オリエンテーション <島での過ごし方>	振り返り
2日目	オリエンテーション <魚の獲り方について>	自給自足生活	振り返り
3日目	自給自足生活	自給自足生活 いかだレース	振り返り
4日目	清掃	施設を出発・解散	

一日目： 今年もいえしまの暑い夏が始まりました。電車、バス、船と乗り継ぎ、予定通り昼前に施設に到着しました。昼食とオリエンテーションを済ませると、早速水着に着替えて、海遊びに出かけました。海の冷たさに心身共に癒されました。海遊びの後は夕食の貝を集めに行きました。「亀の手」と呼ばれる貝で、なかなか取れず苦戦しながらも大きいものが取れた時は嬉しそうにされていました。夕食は自炊の仕方を学ぶために定番のカレーを作りました。また、貝や蟹を入れた味噌汁も作りました。固形燃料（オガライト）がなかなか燃えず、それでも一生懸命話し合いながら火起こしを行いました。完成したカレー、味噌汁をどのグループも美味しく食べておられました。毎晩、振り返りと翌日の一日の立案を行います。振り返りでは、「頑張り」、「笑顔」、「楽しさ」、「耐える」、「優しさ」、「声かけ」のグラフを作成し、各MVPを決めました。立案では、食事の内容とやりたいことをみんなで話し合い明日に備えました。



二日目： 今日から自分達で考えて一日を過ごします。朝食を済ませ、海水浴に出かけるグループ、海釣りに行くグループ、貝を獲りに行くグループに分かれました。昼食のタイミングも異なり、グループごとのゆったりとした時間が過ぎていきました。一日を過ごす中で、重要なポイントが『時間が分からない』事です。リーダーも時計を持っていないので時間が分かりません。おおよその時間を太陽の位置や他の利用者の動きをヒントに予測して動いていました。それでもどのタイミングで夕食を作ればいいのか目処が立てない為、結果お風呂の時間が迫り、片付けが後回しになってしまいました。こうした失敗を明日克服出来るようにしっかりと振り返りを行いました。



三日目： 朝から各グループ動きがありました。早く起きて活動をするグループ、十分に休んで過ごすグループ、釣りのリベンジに燃えるグループがありました。続く猛暑の中、朝から動きすぎると体力が持たない事を学んだので午前中は涼しいところで休みました。この時に昨夜考えきれなかった振り返りや午後からの計画を立てました。午後からはお楽しみの「いかだレース」を行いました。竹とブイで作るのですが、職員さんからロープの括り方を教えてもらい、どの形にするのか、どのぐらいの大きさにするのかを話し合い、作りました。初めはロープの括り方がわからず手こずっておられましたが、慣れ始めると順調に



進み、完成することが出来ました。いかだレースがスタートすると、勢いよく漕ぎだしました。どちらもオリジナルな作り方なので、箇所によってはブイが外れたり、ロープが解けたりし、浮き沈みがありましたが、頑張って漕ぎ続け、岸まで往復することが出来ました。夕飯はいかだレースの賞品として「お肉」を獲得出来たので調理し、美味しくいただきました。



四日目： 朝から片付けの為に早起きして動き出しました。朝食前にかまど掃除を行うグループもおられ、片付けの意識が見られました。朝食後も引き続き掃除の時間です。荷物の整理や借りた用具の片付けなど、やる事が沢山ありましたが、一つ一つ丁寧に終わらせていきました。片付けが終わると、思い出工作として、いえしまに落ちている自然のものにペイントしました。それが終わると最初で最後の食堂利用です。誰かに料理を作ってもらう嬉しさと美味しさをしっかりと噛み締めました。みんなの食欲は旺盛で、おかわりを沢山されていました。食事を終え、トイレや荷物整理を済ませるといよいよ出発です。いえしまの所長さんのお話を聞き、港まで向かいました。初日は道中に疲れが目立ちましたが、帰りは皆笑顔で遅しく感じました。フェリーに乗船すると、初めは賑やかに過ごしていましたが、姫路港到着前には半数以上が休まれています。解散場所ごとに分けると、一緒に過ごした友達と離れるのが寂しそうにされている方もおられました。



<キャンプ総括>

先日から続く猛暑に心配していましたが、メンバーの元気と頑張りが勝っておりまして。昨年度の経験より改善され、快適に過ごせた部分が多々ありました。しかし、快適に過ごせると同時に物事が『楽』になってきている気がします。このキャンプを初めて企画した時の想いは「メンバーに普段の生活がいかに楽な環境かを感じてもらおう」ことでした。そこからキャンプを通して、『感謝』の気持ちを感じていただく事が目的でした。四日間を終えて、快適さが増すと同時に失われつつある想いに矛盾とジレンマを感じています。ただ、これらは相反するものではなく、共存できるものだとも考えています。次回に向けてまた一つ大きな課題が出来ました。こうしてキャンプも成長しています。是非とも次回の「いえしまDays」にご参加ください！！（竹中 哲郎）